

未来を開く

長井市立長井北中学校

No20 令和5年8月31日

第1回学校評価結果

「学校評価」へのご協力、ありがとうございました。各項目の結果から、成果や課題等を明らかにして、今後に生かしてまいります。

1 確かな学力の育成	生徒	保護者	教職員
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	95%		
②授業はわかりやすく、楽しいと感じる	87%	91%	100%
③自分は、授業中に積極的に友達と話し合ったり、教え合ったりしている	89%		95%
④5時間授業の日があることで、家庭学習に計画的に取り組んでいる	73%	66%	81%
2 自尊心の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	71%	97%	95%
②自分の役割に、責任を持って活動することができている	94%		100%
③いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活することができる。	97%	93%	90%
④先生方や友達は、困ったときに相談にのってくれる	95%		
3 健康・体力の育成	生徒	保護者	教職員
① 家庭で決めたルールを守って、SNS(インターネットやゲーム)をしている	83%	59%	95%

②朝食をしっかりと摂り、睡眠時間を確保している	89%	72%	71%
③交通ルールを守り安全に注意して、事故やけがに遭わないよう努力している	99%		100%
④5時間授業が多くあることで、家庭での生活にゆとりができています	85%	58%	
4 地域の学校・開かれた学校づくり	生徒	保護者	教職員
①北中は、地域に貢献し、地域と共に伸びる学校になっていると思う		89%	95%
②学校だよりや学年・学級だより等で学校や生徒の様子がよくわかる		98%	100%

※数値は、4段階評価のAとBの数値の合計

A：大変よくできている B：まあまあできている

C：あまりできていない D：ほとんどできていない

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理しました。

生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれる」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声がけしている」などと読み替えてください。



学校としては、次のような《考察》を行いました。

- 1 確かな学力の育成** (＋、－)は昨年度比
- ① 生徒の授業への意欲**
生徒のA、Bの合計が95%。「わかりたい・わかろうとする生徒」(A:1年62%、2年72%、3年55%) 今後も継続したい。
 - ② わかりやすい授業**
生徒87(+2)%、保護者91(-1)%、教員100(+5)%。
生徒と教師に意識の差。教員の教材研究時間(+14)%。さらに「わかる」「楽しい」授業を目指し、学力の向上を図る。
 - ③ 話し合いや教え合い**
生徒89(-3)%、教員の指導95(+5)%。生徒がもっと学び合いを求めていることを踏まえ、対話や交流をしなくなる授業づくり、十分な時間を確保できるような教科経営を進める。

④ 家庭学習

生徒73(±0) %、保護者66(-4) %、教員の指導81(-4) %。
計画の立て方指導、授業でのまとめや振り返りを通じた学習調整力の育成を通し、自発的な学習意欲の向上を図る。

2 自尊心の育成 (+、 -) は昨年度比

① 自分の長所を言える

生徒71(-4) %、保護者97(-1) %、教員の指導95(±0) %。
一人一人のよさを見つけ、個を伸ばす環境がある。教師や家族だけでなく、生徒同士で“よさが言える”取組を行う。

② 責任感

生徒94(+2) %、教員の指導100(+5) %。
自己有用感を意識したかわりて、自律・自立につないでいく。

③ いじめや嫌がらせがない

生徒97(±0) %、保護者93(±0) %、教員の指導90(-10) %。安全・安心の基盤がある。未然防止に重点を置いた道徳教育・体験活動を今後も充実していく。

④ 相談にのってくれる

生徒95(±0) %。生徒や保護者からの信頼感が高い。相談できない5%の生徒へのかかわりづくりを丁寧に行っていく。

3 健康・体力の育成 (+、 -) は昨年度比

① メディアのルール

生徒83(-4) %、保護者59(-4) %、教員の指導95(±0) %。
生徒、保護者、学校の危機意識に差。家庭と学校が連携し、意識的な声かけを継続し、安全利用に向けたルールの徹底に努めたい。

② 朝食・睡眠

生徒89(+4) %、保護者72(-11) %、教員の指導71(-10) %。

ゆとりを情報機器にのみに費やさない指導、早い下校後の時間の使い方の紹介等の取組が必要である。

③ けが・事故防止

生徒99(±0) %、教員の指導100(±0) %。
危険防止意識が高く、安全・安心の基盤がある。具体的な指導の継続、教員間の即時共有・即時指導の徹底を継続する。

4 開かれた学校づくり (+、 -) は昨年度比

① 地域に貢献する学校

保護者89(-6) %、教員の指導95(+5) %。
新型コロナウイルス感染症の5類移行で各種大会が元に戻ってきた。それらとの折り合いや生徒自身の主体性を高めていけるようにする。

② 情報発信

保護者98(+2) %、教員の指導100(±0) %。
今後とも、「学校だより」「学年・学級だより」「ホームページ」等で情報発信を進める。

この他、生徒、保護者の方々からは貴重な「声」をたくさん頂戴しました。2学期の職員会議(8月17日(木))では「『声』を謙虚に受けとめ、日常指導に生かすこと」を確認しました。

〈 2 学期の指導のポイント 〉

◇ 毎日の授業や家庭学習を一層充実させ、学力向上を図る

- ・教師は常に生徒の立場で授業をすすめ、「わかる」「できる」「楽しい」授業を行い、「学力」をつける。
- ・授業における自己の変容を振り返る場を大切にし、次の学び(授業、家庭学習)への意欲を高める。
- ・家庭学習でのタブレットの活用を進める。

◇ 自分に自信を持たせる

- ・一人一人の良さを取り上げ、周囲からの働きかけを意識して行い、生徒の自信につなげる。
- ・生徒の自己決定や目標設定を大切にし、物事に主体的に取り組むことができるようにする。

◇ 生活リズムを整える

- ・メディアのルール等、家庭との連携のもと、自己管理の視点から声かけ等に努める。

◇ 安全意識の一層の高揚を図る

- ・時季に応じた指導を行うとともに、安全への意識を高め、継続して「自分の命は自分で守る!」を徹底させる。

次回の「学校評価」は、11月実施予定ですが、お気づきの点は、その都度、学校までお寄せくださるようお願いいたします。